APSジャパン㈱立地

協定書調印後握手を交わす（左から）保県企業立地推進課総括課長、渡邉代表取締役、浅井市長、佐々木市議会議長

市として9社目、本年度初の誘致企業として、精密プレス加工、金型・治具設計製造などを行うAPSジャパン株式会社（本社大阪市中央区、渡邉輝夫代表取締役）の立地が決定しました。

9月8日、市役所本庁で行われた立地協定調印式には、渡邉代表取締役と浅井市長、保和衛岩手県商工労働観光部企業立地推進課総括課長、佐々木時雄市議会議長らが出席。渡邉代表取締役と浅井市長が、立地協定書に調印しました。

調印後、浅井市長は「御社の進出の英断は、市の経済活性化に大いに貢献いただけるものと確信している。市としても関係機関とともにバックアップさせていただく」と歓迎。渡邉代表取締役は「日本の技術を次の世代につなぎ、海外に発信していきたい。一関はその基地として申し分のない地と思い、立地を決めた。今後は一関高専との産学連携などにも取り組んでまいりたい」とあいさつしました。

同社は香港の先技精工有限公司を親会社とし平成18年設立。一関東工業団地内に一関工場（敷地5439平方㍍、建物1369平方㍍。名称は「APSジャパン㈱一関TEC」）を設置し、9月から操業を開始しました。同工場を日本の製造拠点として、国内企業との取り引きを行うほか、将来的には技術センターや海外社員の研修の場としての機能を持たせたいとしています。従業員は地元採用を中心に当初20人体制とし、最終的に40人程度の体制と計画されています。

岩手・宮城内陸地震

山谷・本寺間国道通行止め解除

地震による土砂崩れなどで全面通行止めとなっていた、国道342号の厳美町字天王地内から同字駒形地内までの約4㌔㍍区間は8月29日、通行が再開されました。

同区間内では、同字下真坂地内で国道の一部がけ崩れによる土砂で埋まり、国道のり面が一部崩落するなどの被害がありました。これに伴い、山谷・本寺地区間は回路を経由しなければならない状態が続いていましたが、同国道を管理する県により、土砂の撤去や危険個所の応急復旧が懸命に進められ、同日、一部片側交互通行区間はありますが、通行が可能となりました。

崩落した土砂の撤去とがけの掘削により2カ月半ぶりに通行止めが解除された下真坂地内の国道342号

「もちの里」いちのせき

おもちものがたり

⑤頑張ってます！「一関・平泉もち街道」

一関地方に伝わるもち食文化を再認識するとともに、独特の作法や数百種類にもおよぶと言われるもち料理を全国に誇れる名物にしていくことを目指す「一関・平泉もち街道」がスタートしてから約3カ月。この取り組みには市内・平泉町内の60を超える店舗の賛同をいただき、昔ながらの伝統的なものからこの企画のために開発された斬新なメニューまで、さまざまなもち料理が提供されてきました。

街中では、全店舗のメニューが掲載されている「もち街道マップ」を片手に散策している観光客も見受けられるようになり、少しずつ、しかし確実に普及につながってきたのではと感じています。

「一関地方といえばもち料理！」「もちって見ても食べても素晴らしいね」。こんな会話がいろいろな場所で、幅広い皆さんから聞こえてくるように願いながら、今後もさらに普及に努めていきます。

皆さんはどんなもち料理を食べましたか？まだ食べていない人は、早速もち料理の食べ歩きを楽しんでみてはいかがですか！（了）

上　もちを利用した創作料理「一関もっフル」

右　一関地方が誇る伝統的なもち料理「一口もち膳」

各校代表が研さんの成果を披露

「わたしの主張」地区大会

「わたしの主張」大会は、一関東地区大会が９月２日に千厩中、一関地区大会が９日に厳美中でそれぞれ行われ、両磐地区各中学校の代表が家族、学校生活、地域社会など身近なテーマで感じたことを、表情豊かに訴えかけました。

一関東地区大会には、大東・千厩・東山・室根・川崎地域と藤沢町の９校の代表９人が出場。審査の結果、最優秀賞には「向き合うことから始めよう」と題し弁論を行った及川光代さん（興田３年）が輝きました。

一関東地区大会最優秀賞の及川光代さん

及川さんは、幼いころに心の傷を受け長年病気と闘い続ける母親が、それでも家族のため一生懸命家事をこなし、さらには「人の役に立ちたい」とホームヘルパーの資格取得を果たしたことを披露。そうした母親と向き合うことを避けてきた自分の心の狭さに気付き、「嫌なことから逃げずに、たくさんの人の長所を見つめ、真っすぐに向き合える人間になりたい」と語りました。

一関地区大会には、一関・花泉地域と平泉町の11校の代表12人が出場。審査の結果、最優秀賞には「誇りをもって」と題し弁論を行った阿部陸君（中里３年）が輝きました。

一関地区大会最優秀賞の阿部陸君

阿部君は、し尿処理に従事する父親の職場を自ら体験。父親が細やかな気配りの下に自信と誇りに満ちて働き、たくさんの人たちから感謝の言葉を受ける姿を見て、「父の仕事に偏見を持っていたのは自分自身と気付いた」と語り、「どんな仕事でも、誇りを持ち、心を込めて働くことで自分を輝かせることができる。自分も将来、家族を支えて働き、その仕事になくてはならない存在となりたい」と締めくくりました。

最優秀賞を受賞した二人は９月24日、紫波町で行われた県大会に地区代表として出場しました。

そのほかの受賞者は次のとおりです。（敬称略。出演順。学年はすべて３年）

◎一関東地区大会▽優秀賞…山口れな（藤沢）▽優良賞…菅原彩加（川崎）

◎一関地区大会▽優秀賞…細川明佳（山目）、佐藤夏実（舞川）▽優良賞…内田華奈（本寺）、吉廣翔太（桜町）

中学校英語暗唱大会

第２回一関地方中学校英語暗唱大会は９月４日、川崎公民館で行われました。

中学生の英会話能力や表現力の向上を目的とする大会には、両磐地区の中学校20校から、教科書などの文章による暗唱の部に34人、自作によるスピーチの部に14人が出場。出場者は、練習を重ねた英文を、時に身ぶりを交えながら、美しい発音で表情豊かに発表しました。

審査は発音や暗記の正確性、表現力、さらにスピーチの部では内容を加えた項目で行われ、上位入賞者が次のとおり選ばれました。（丸数字は順位。敬称略）

◎暗唱１・２年の部…①小野寺若葉（川崎２年）②八重柏わか（一関同）③小野友美（桜町同）④松田美穂（山目同）⑤村上純夏（藤沢同）⑥伊澤夏美（中里同）

◎暗唱３年の部…①小松知佳（山目）②千葉夏美（平泉）③伊藤綾野（中里）④深谷智子（桜町）⑤菊地楓香（萩荘）⑥菅原唯（舞川）

◎自作の部…①蓬田沙綾子（山目３年）②今野彩佳（桜町同）③川田真也（萩荘２年）④佐藤安那（東山３年）⑤佐々木優希（平泉同）⑥佐々木啓祐（本寺同）

児童生徒独唱大会

2008年度一関地方児童生徒独唱大会は９月19日、一関文化センター中ホールを会場に行われました。

大会には両磐地区から、小学校の部に27校49人、中学校の部に20校40人が出演。小学生は「うみ」や「おぼろ月夜」「歌のにじ」、中学生は「帰れソレントへ」や「夢路より」「荒城の月」など、それぞれ練習を重ねてきた曲を、ピアノ伴奏に合わせて堂々と披露。若々しく美しい歌声がホールに響き渡り、客席を埋めた保護者らから盛んな拍手が送られました。

伸びやかな歌声を披露した出演者

審査の結果、小学校の部では「やあ！」を歌った平石優志君（赤荻５年）、中学校の部では「カロ・ミオ・ベン」を歌った星奏子さん（大東３年）がそれぞれ最優秀賞に輝いたほか、全員に▽優秀▽優良▽努力一のいずれかの賞が贈られました。

走り幅跳びで東北大会優勝

川崎中 鈴木さん

鈴木美菜子さん

鈴木美菜子さん（川崎中２年）は、８月９日に山形県天童市で行われた20年度東北中学校体育大会の陸上競技女子共通走り幅跳びで５m42（追い風参考）を記録し、見事優勝を果たしました。

９月１日、関係者とともに市役所で浅井市長に優勝を報告。鈴木さんは「自己ベストで優勝できてうれしい。来年はジュニアオリンピックと全国中総体に出場し、上位入賞を目指したい」と語り、浅井市長の祝福を受けました。